

Made in Kushima  
逸品ストーリー

# 畑で見つけた真っ赤な宝もの「いちご」

## 串間いちご畑おにつか農園



地面より高い位置に棚を組む『高設栽培』は屈まなくていいため管理や収穫に優れています。

真っ赤に熟した摘みたてのいちごをひとくち。溢れんばかりの水分とともに濃厚な甘さが口いっぱいに広がります。

「もっとたくさんの人に楽しんでもらいたいです」と話してくれたのは、本城地区で串間いちご畑おにつか農園を営む鬼塚晃さん。12月から5月の半年間、いちご狩りを行っています。

晃さんがいちご狩りを始めたのは今から18年前。気軽に農業に親しんでもらいたいという想いから観光農業として始めました。みかん狩りなどに比べると長い期間楽しめること、子供たちにも人気の果物であることが決め手です。メインで扱っている品種の『さがほのか』は糖度が高く酸味が少ないため、スイーツなどにもよく使われています。

「さらに技術を磨いて、いつ来てもおいしいいちごを提供できるようにしたいです」と晃さん。特に3月がピークを迎え、週末には1日に300人以上の人が集まります。週末に合わせて大きな実を付けることができるように、基本を守りながら、日々品質改善に取り組んでいます。

収穫体験もいちご狩りの醍醐味。完熟して最高に甘くなっただいごをぜひ一度味わってみませんか？